

報道用資料

Press release

大岡信ことば館展覧会のご案内

企画展

# ますむらひろしが描く宮沢賢治の世界

2015年7月18日（土）～10月25日（日）

風景には言葉がある。  
——ますむらひろし

2015.  
7.18 sat  
▼10.25 sun

宮沢賢治の世界

大岡信ことば館  
OOKA MAKOTO KOTOBA MUSEUM

6ますむらひろし



報道関係各位

2015年7月

盛夏の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

さて現在、株式会社増進会出版社大岡信ことば館では、株式会社Z会と共催で企画展「ますむらひろしが描く宮沢賢治の世界」を開催しています。

特徴ある猫のキャラクターと独特のファンタジーで多くのファンを魅了する漫画家、ますむらひろし。氏が漫画家を志したきっかけや、作風の根底には、自身が敬愛する宮沢賢治の影響があります。

ますむら氏は、1983年より宮沢賢治の童話「風の又三郎」、「グスコーブドリの伝記」、「銀河鉄道の夜」などの漫画化に積極的に取り組んでいます。漫画化にあたっては、原作の文章に忠実でありながら、登場人物を猫の姿で表現。繊細で壮大な賢治の童話の世界を、猫の印象的な表情や独特の心理描写、存在感をもって見事に描き、読者はもちろんのこと、賢治の研究者の間でも高い評価を得ています。特に、「銀河鉄道の夜」においては、賢治の残した原稿の初期形と最終形の両方を漫画化し、1985年に杉井ギザブロー監督によって劇場アニメ化。神秘的な音楽は細野晴臣氏が、ますむら氏はキャラクターデザインを担当し、100万人を動員するヒット作品になりました。また、2013年～14年、新聞「赤旗」日曜版に賢治の短編童話「オツベルと象」「ひかりの素足」「やまなし」「<sup>けんじゅう</sup>度十公園林<sup>りん</sup>」の4作品を連載、賢治世界への探求はつづいています。

本展では、ますむら氏の描く宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を中心に、漫画の生原稿やカラーイラストなどを、賢治のことばを造形的に織り込みながら紹介します。ここから浮かび上がる、宮沢賢治がみつめていたもの、追い求めていたものとは.....

ことばによって書かれた賢治の作品世界を、漫画によっていかに表現しうるか。それは、ますむら氏の宮沢賢治への挑戦でもあり、同時に、ますむら氏が賢治の世界を通して現代社会に伝えたいメッセージでもあるでしょう。

下記の通り、概要をお知らせいたします。

## 開催概要

【展覧会名称】 ますむらひろしが描く宮沢賢治の世界

【会期】 2015年7月18日（土）～10月25日（日）

【開催場所】 大岡信ことば館  
〒411-0033 静岡県三島市文教町 1-9-11 Z会文教町ビル  
TEL:055-976-9160 / FAX:055-989-1360  
<http://kotobakan.jp/>  
E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

【展示内容】 ますむら氏の漫画生原稿や制作に使用した資料を、大岡信ことば館ならではのことばの造形とともに紹介します。

### みどころ①

なぜ賢治？なぜ猫？「霧にむせぶ夜」生原稿、「アタゴオル」から、ますむらひろしと賢治との出会いやますむらひろしの創作の背景を紹介。



▲「霧にむせぶ夜」生原稿（左） / 賢治イメージイラスト（右上） / 「アタゴオル」より（右下）

### みどころ②

『銀河鉄道の夜 [初期形ーブルカニロ博士篇]』（1985年朝日ソノラマ）全生原稿約200枚を一堂展示！ますむらひろしが絵画化することでみえてきた様々な発見や謎も紹介。



▲「銀河鉄道の夜」生原稿

### みどころ③

新作「オツベルと象」「ひかりの素足」「やまなし」「度十公園林」の生原稿やカラーイラストを初公開！80年代に手がけた、そのほかの賢治の童話作品もご覧いただけます。

○会期中展示替えがあります

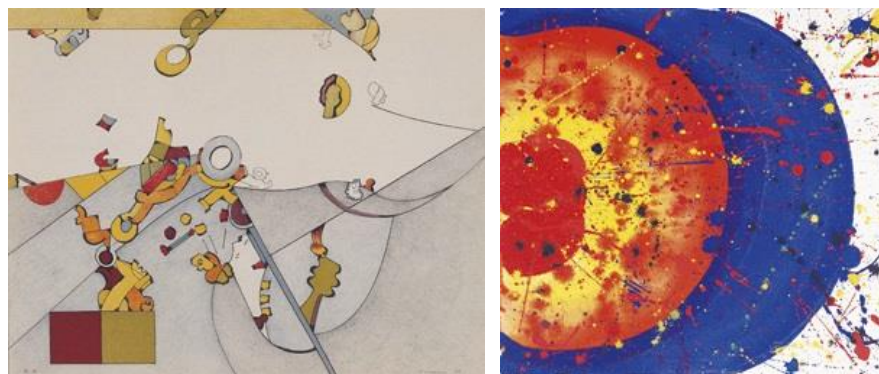
前期：7/18（土）～8/30（日）／後期：9/1（火）～10/25（日）



▲「度十公園林」より（左）／「ひかりの素足」より（右）／いずれも部分

### みどころ④

宇宙や生命をテーマに、大岡信の詩作品を紹介。あわせて、400点あまりの大岡信の美術コレクションの中から「光」「空間」「時間」「マクロとミクロの宇宙」という観点から選んだ作品を紹介します。



▲《エスペース・コスモの段階》嶋田しづ（左）

《This is as it is All the rest is darkness》サム・フランシス（右）

◇アニメーション映画「銀河鉄道の夜」（1985年）モニター上映

日 時：会期中毎日（休館日を除く）

①11：00～／②13：00～／③15：00～（上映時間：107分）

ますむらひろしが描き、杉井ギサブローが監督したアニメーション映画「銀河鉄道の夜」を毎日上映！音楽は細野晴臣が担当。

【開館時間】 午前10時～午後5時（入館は閉館時間の30分前まで）

【休館日】 月曜日（ただし祝休日の場合は開館し、翌平日休館）

【入館料】 大人1,000円 | 大学生700円 | 小中高高校生500円 | 未就学児 無料

・ 障害者手帳ご呈示の方および、その付き添いの方1名 無料

・ 静岡県内の小学生はミュージアムパスポートご呈示で無料

・ シニア割引 毎週木曜日・60歳以上のかたは半額

・ 団体（4名以上）各100円引

・ ネコのアイテムを身に付けてきた方 100円引き

※割引の併用不可

- 【主催】 大岡信ことば館、株式会社Z会
- 【協賛】 第一三共株式会社、スルガ銀行、伊豆箱根鉄道株式会社、  
みしまプラザホテル
- 【後援】 静岡県、三島市・沼津市・長泉町・清水町・函南町・裾野市・御殿場市・  
富士宮市・伊豆の国市・伊豆市 各教育委員会／富士市

## ■ 会期中イベント

### ①ますむらひろし サイン会

日時：7月18日（土）13：00～

### ②ますむらひろし 講演会

日時：9月6日（日）14：00～15：30

料金：大人1,500円、大学生1,000円、小中高生600円（入館料込）

数々の宮沢賢治作品を漫画化することで、賢治と向き合ってきたますむらひろし氏。賢治への想いや、漫画化にあたってのエピソードなどをお話しいたします。

※講演会后、参加者を対象にサイン会を開催。

### ③天体観測会「ジョバンニがみた夜空」

日時：7月25日（土）17：00～21：30

料金：大人2,000円、小人1,500円（入館料込）

『銀河鉄道の夜』のジョバンニが見上げた夜空とは？ことば館を飛び出して、天文台にて夏の夜空を観測します。

協力：月光天文台（函南町）

### ④朗読&演奏会「賢治のことばと笙の調べ」

日時：10月3日（土）17：30～18：30

料金：無料

賢治の作品を東北地方のことばで朗読します。また、天を表す楽器といわれる笙で、賢治が創作した曲を奏でます。

出演：羽畑享司（フォルクローロ“民話”店主）/村岡健一郎（伶楽舎）

### ⑤ワークショップ「樹脂ねんどでこねこねこ」

日時：8/8（土）・8/22（土）両日 13：00～16：00（最終受付） 随時参加可能

樹脂ねんどを使って、ねこグッズを作ってみよう！ブローチやストラップ、オブジェなどアイデアいっぱい！お気軽にご参加ください。

料金：500円（入館料別）

### ⑥きらきら おはなしかい

日時：7/26（日）・8/9（日）・9/13（日）・10/4（日）

賢治の童話や詩、またそこから広がる世界を、絵本や朗読を通して紹介します。自然や宇宙の神秘を感じてみましょう。協力：てんとうむし文庫

### ◇ギャラリーツアー

日時：7/19（日）・8/16（日）・9/20（日）・10/18（日） 各回14：00～40分程度

当館学芸員が、展覧会のみどころを解説。

## ■ そのほか

ミュージアムショップではますむらひろし関連書籍・グッズを取り揃えています。また、展覧会パンフレットをはじめ、本展オリジナルグッズを販売しています。

## プロフィール

### ますむらひろし

漫画家。1952年山形県米沢市生まれ。20歳の時に宮沢賢治を読み感激し、描き出した漫画処女作「霧にむせぶ夜」が、1973年少年ジャンプ手塚治虫賞準入選。以後、月刊「ガロ」を経て月刊「マンガ少年」に、賢治が発信した「イーハトーブ」への返信として、「アタゴオル」世界の作品を次々に発表。1983年、登場人物を猫のキャラクターにおきかえた賢治童話作品の漫画化に着手。1985年『銀河鉄道の夜』がアニメーション映画となる。1997年、日本漫画家協会賞大賞、2001年、宮沢賢治学会イーハトーブ賞を受賞。

### 宮沢 賢治 みやざわ けんじ

詩人・童話作家。1896年岩手県花巻市生まれ。幼少時から童話を好むと同時に、石や昆虫などにも興味を持ち、「石っこ賢さん」などと呼ばれる。農学校の教師を辞した後も農業指導に力を注ぎつつ、童話や詩の創作活動を続けた。1933年、肺炎のため37歳で死去。生前に刊行された作品は、童話『注文の多い料理店』と、詩集『春と修羅』の2作品のみ。しかし、死後に多くの作品が刊行された。壮大かつ独特の感覚で創作されたそれらの作品は、時代を越えて読む者を惹きつけている。

---

以上

取材のご希望および詳細については、下記までお問い合わせください。また、図版掲載をご希望の場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

#### 【問い合わせ】

大岡信ことば館

住所 〒411-0033

静岡県三島市文教町 1-9-11 Z 会文教町ビル 1,2 階

TEL:055-976-9163 / FAX:055-989-1360

E-mail: kotobakan@zkai.co.jp

<http://kotobakan.jp/>

広報担当：関 義明 / 展覧会担当：中村童子、奈良本真紀